

「家がいいね」 第84号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2011. 5. 2

遠くのでき「よ」に
人はやまじい

(おれはその「よ」を知っている
吹いていった風)

近くのでき「よ」に

人はだまり「む

(おれはその「よ」を知っている
吹いていった風)

遠くのでき「よ」に

人はうつくしく怒る

(おれはそのわけを知っている
吹いていった風)

近くのでき「よ」に

人は新聞紙と同じ声をあげる

(おれはそのわけを知っている
吹いていった風)

近くのでき「よ」に

私たちは自分の声をあげた

(おれはその声をきいた
吹いていった風)

近くのでき「よ」に

人はおそろしく

私たちは小さな舟のようにふるえた
(吹いていった風)

遠くのでき「よ」に

立ち向かうのは遠くの人で

近くのでき「よ」に
立ち向かうのは近くの私たち

(あたりまえの歌を

風がきいていった

あたりまえの苦しさを
風がきいていった

石川逸子「風」

詩集『子どもと戦争』より (随分と

昔も私たちは同じ様な苦しみを抱えていたのに、「未曾有」
だとか「想定外」だとか今初めてのように言う。「ころを
ひとつに」の危うさも忘れたの？ 風を前に恥ずかしい)



新緑が映えて

内宮神苑で神楽
を見ました。写真

は「胡蝶(こちょう
う)」の4人舞です。

神宮の女性舞人は

18歳から5年と
聞きました。装束

は、彩り様々な蝶
の刺繍が施された

萌黄色の衣と、背
には極彩色の大き

な蝶の羽、額には山吹の花を挿した天冠、右手に
山吹の採り花と、古き平安の時を感じました。



エンディングノート勉強会

定例会… 第2水曜 夜19時

場 所… クリニック隣 縁(えにし)の家

4月13日「介護が始まる時」 終了

5月11日「遺言の書き方」 講師と懇談

6月 8日「医療での意思伝達」

7月13日「今の世の葬儀」

参加無料、終了時にはノートが完成します

みえ生と死を考える市民の会 講演会

6月18日(土)

13時~15時 津市

三重県総合文化センター

大ホール 会員外も可

国立がんセンター前総長

垣添忠生さん「妻を看取る日」



愛する人を送るのが最も難しい。治療を諦めて
から数日の在宅生活。残された者の癒しが、仕事
と酒だったと赤裸々に語られます。皆様も自問を。



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御園町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105
メール homecare@kr.tcp.ip.or.jp
新ホームページ http://isezaitaku.com